

社福振福 第18号
令和4年6月15日

道府県
各 政令指定都市 民生主管部（局）長 様
中核市

公益財団法人社会福祉振興・試験センター
理事長 橋本正明
(公 印 省 略)

2022年度民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修・調査
受講者の推薦について（お願い）

時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当センターの事業運営につきまして、格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当センターが毎年実施しております標記海外研修については、この度オンラインを利用した形態にて、別添「2022年度民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修・調査実施要綱」のとおり実施することとなりました。

つきましては、業務ご多忙の折誠に恐縮に存じますが、貴管下の民間社会福祉施設等に勤務する職員について、下記のとおり受講者をご推薦いただきたくお願い申し上げます。

なお、ご推薦にあたっては、本研修の趣旨に照らし特定の施設に偏ることなく、できるだけ多くの施設からご推薦いただきたく存じます。また、障害者班の障害児・者関係施設の職員の推薦につきましては、誠に恐縮ではございますが、障害児・者関係のご担当の部署にご依頼いただきますよう、よろしく願い申し上げます。

受講対象者の選考結果につきましては、決定次第、貴職及び全ての申込者の所属施設長あてに連絡いたします（8月中旬頃を予定）。受講定員の関係から、ご推薦をいただきながらも受講いただけない場合もございますので、あらかじめご了承賜りますようお願い申し上げます。

記

1 ご推薦いただく対象者

高齢者班・・・・・・・・ 高齢者福祉関係施設の職員

障害者班・・・・・・・・ 障害児・者福祉関係施設の職員

(受講対象要件は「実施要綱」のとおり)

2 提出書類（各様式は期間限定でHPからダウンロード可）

(1) 【各都道府県（一部社協）・指定都市・中核市が作成】

- 2022年度民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修・調査
受講希望者推薦書（指定様式）

(2) 【受講希望者が作成】

- 2022年度民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修・調査
受講申込書（指定様式）

3 提出〆切 2022年7月19日（火曜日）（必着）

※該当者なしの場合もお手数ですがその旨ご連絡願います。

また、〆切後も申込書の送付があった場合はお手数ですが、
下記提出先までお問合せください。（場合によっては受理いた
たします）

4 その他

当センターホームページ（<https://www.sssc.or.jp>）に「実施要綱」及び
「選考基準」を掲載しています。

《照会・提出先》

公益財団法人社会福祉振興・試験センター
福祉振興部 福祉振興第一課

海外研修担当：深山^{みやま}（E-mail：ml--fukushil@sssc.or.jp）

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-5-6 SEMPOS ビル

Tel：03-3486-7511 / Fax：03-3486-7514

研修受講者推薦事務ご担当者様向け補足説明

いつもお忙しい中ご協力いただきありがとうございます。本文書が担当係ではない係に届いてしまった場合は、恐れ入りますがご担当者様にお渡し願います。

1 2022年度海外研修の特記事項

- ① 従前はヨーロッパ班、北米班、オセアニア班と地域で分けしていたのを見直し、今年度は研修内容で高齢者班、障害者班に分けております。
- ② 昨年度は高齢者班（旧ヨーロッパ班）のみの設定とさせていただきましたが、今年度は障害者班も設定いたしましたのでご了承賜りますようお願い申し上げます。
- ③ 今年度当センターの国内合宿研修の文言と揃えるため、受講対象者を高齢者班は「介護報酬指定施設・事業所等」、障害者班は「自立支援給付指定施設・事業所等」と変更しております。受講対象者は、従前の施設・事業所と変わりませんのでご了承賜りますようお願い申し上げます。

2 提出書類について（推薦期間中、(7/19 まで)HP からダウンロードいただけます。）

- ① 2022年度民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修・調査受講希望者推薦書（指定様式）
→お手数ですがご作成をお願いします。
- ② 2022年度民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修・調査受講申込書（指定様式）

提出期限：2022年7月19日（火）必着

書類の提出が期限に間に合わない時は、その旨を電話・FAX・メール等で、期日までに連絡願います。なお、推薦者がいない場合であっても、その旨ご連絡ください。

3 実施要綱について

児童班（社会福祉法人日本保育協会が推薦事務を行う）に関する項目も含めた要綱を同封しておりますが、今回ご推薦いただくのは高齢者班と障害者班です。ご注意願います。

4 受講者の決定について

2022年8月中旬頃通知します。

また、受講決定・非決定に関わらず全ての申込者の所属施設長へ別途通知します。

ご不明な点等ありましたら、お手数ですが下記担当者までご連絡をお願いいたします。

公益財団法人	社会福祉振興・試験センター
担 当	福祉振興部 福祉振興第一課 深山（みやま）
電 話	03-3486-7511
F A X	03-3486-7514
住 所	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-5-6
E-mail	ml-fukushi1@sssc.or.jp
ホームページ	https://www.sssc.or.jp

2022年度民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修・調査 実施要綱

1 目 的

民間社会福祉施設等で働く介護職員、生活支援員、保育士等の職員が諸外国における福祉の最新情報や知識について学び、もってわが国の福祉サービス向上や地域福祉の推進に寄与することを目的とする。

2 実施主体

公益財団法人社会福祉振興・試験センター（以下「センター」という。）

3 研修・調査実施班及び内容

① 高齢者班

ア 研修・調査国 スウェーデン

イ 研修・調査の内容

スウェーデンの福祉事情聴取、高齢者福祉関係施設の利用者の支援状況及び在宅高齢者のための支援技術等

② 障害者班

ア 研修・調査国 スウェーデン

イ 研修・調査の内容

スウェーデンの福祉事情聴取、障害児・者福祉関係施設の利用者の支援状況及び障害児・者のための支援技術等

③ 児童班

ア 研修・調査国 フィンランド

イ 研修・調査の内容

フィンランドの保育事情聴取、児童福祉関係施設における保育状況及び児童養護状況等

4 研修・調査実施期日

① 高齢者班

1日目 スウェーデンの福祉事情セミナー（LIVE）

2022年9月20日（火）15時～17時

2日目 スウェーデンの高齢者施設見学・質疑応答等（LIVE）

2022年9月27日（火）15時～17時30分

② 障害者班

1日目 スウェーデンの福祉事情セミナー（LIVE）

2022年9月22日（木）15時～17時

2日目 スウェーデンの障害者関係施設見学・質疑応答等 (LIVE)

2022年9月29日(木) 15時～17時30分

③ 児童班

1日目 フィンランドの保育事情のセミナー (LIVE)

2022年10月12日(水) 15時～17時

2日目 フィンランドの保育園見学・質疑応答等 (LIVE)

2022年10月14日(金) 15時～17時30分

5 募集人員

各班40名

6 受講費用

3,000円

7 受講対象者

次の①～④の全てを満たす者とする。

- ① 次のアからウに掲げる民間社会福祉施設等に勤務する介護職員、生活支援員、保育士、看護師等。

さらに、ア・イは各所属施設長を経て各都道府県(一部社会福祉協議会による)、指定都市、中核市の民生主管部(局)長から推薦された者で、ウは各所属施設長を経て社会福祉法人日本保育協会(以下「日保協」という。)の長から推薦された者。

ア 高齢者班(各都道府県・指定都市・中核市からの推薦)

介護報酬指定施設・事業所等

イ 障害者班(各都道府県・指定都市・中核市からの推薦)

自立支援給付指定施設・事業所等

ウ 児童班(日保協からの推薦)

民間の「保育所」等

- ② 研修・調査終了後も引き続き当該業務に従事する意志を有する者
③ 研修の全日程を受講することができる者
④ ZOOMミーティングを利用したオンライン研修を受講できる者
(詳細は別紙1「オンライン研修受講にあたっての必要な機材・環境について」参照)

8 申込方法

受講希望者は、所定の受講申込書を各班の推薦主体(前記7①)に提出すること。

9 申込締切

申込締切日については、各班の推薦主体からの案内を確認すること。

(※各推薦主体からセンターへの推薦締切は2022年7月19日(火)であること。)

10 受講者の決定及び通知

受講者は、前記7により都道府県(一部社会福祉協議会による)、指定都市、中核市の民生主管部(局)の長及び日保協の長より推薦された受講希望者の中から、センターにおいて別紙2「民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修・調査受講者選考基準」により選考のうえ決定し、その結果を当該民生主管部(局)長、日保協及び各所属施設長あて通知するものとする。

なお、受講が決定した者には、受講方法等について個別に案内するため、申込書には必ず受信できるEメールアドレスを記載すること。

11 レポートの提出について

- (1) 受講者は、オンライン研修終了後に所定のレポートを提出するものとする。
- (2) レポートはセンターにて取りまとめる。また、センターのホームページや関係雑誌にレポートの内容等を掲載する場合がある。

12 研修の成果について

受講者は、研修の成果について、所属施設並びに地域等において幅広く伝えるように努め、福祉サービス及び地域福祉活動の向上に寄与するものとする。

13 その他

- (1) 提出された書類は一切返却しないものとする。
- (2) オンライン研修を受講できる環境の整備(受講場所やパソコンの用意、通信環境等の整備)は受講者本人または受講者の所属施設で準備するものとする。
- (3) センター内の記録のため研修内容を録画する予定であること。

2022 年度海外研修・調査

オンライン研修受講にあたっての必要な機材・環境について

オンライン研修受講にあたっては、下記の環境の用意が必要です。

(マイク音声、受講者ご自身の映像を表示して受講することを条件といたします。)

1. 使用機材

- ① アプリケーション：Zoom ミーティング (※1)

事前にアプリケーションをダウンロードの上、接続確認を行って下さい。

- ② 機材：PC (音声/映像が明瞭に聞こえかつ送れるもの)

2. 環境要件 (ZoomHP より作成)

機材・環境	内容	
パソコン (※2)	OS	Windows7 以降、macOS10.9 以降
	CPU	デュアルコア 2 Ghz 以上 (Core i3~,AMD)
	メモリ (RAM)	4GB 以上
	その他	内蔵カメラ・マイク等 (なければ Web カメラ及びマイクの接続が必要です)
	アプリ	Zoom アプリの事前ダウンロードが必要です
インターネット回線 (※3)	通信容量が無制限等で長時間安定して映像・音声等の視聴が可能なこと。	
静かな環境	質疑応答等で発言して頂く場合があります。周囲の音を拾わないようできるだけ静かな環境でご参加ください。	

※1 Zoom のホームページで事前接続確認ができます。環境要件に不安な点がある場合はご確認ください。(URL:Zoom.us/test)

※2 タブレット及びスマートフォンでの受講は推奨いたしません。

やむを得ず使用する場合は大きい画面のものを推奨します。

環境要件は Zoom ホームページをご確認ください。

※3 インターネット回線の通信費については、受講者の負担となります。

3. 注意事項

① Zoom のシステム面や使用デバイス、ネットワークの不具合など、実施主体及び旅行取扱業者の関与し得ない事由にてご参加いただけなかった場合は責任を負いかねます。

② 研修受講中の画面撮影や録画、写真やスクリーンショット等の保存、コンテンツの二次利用、配付は禁止です。

③本研修は記録用として主催者側で録画させていただきます。あらかじめご了承願います。

(別紙2)

2022年度 民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修・調査 受講者選考基準

都道府県・政令指定都市・中核市等及び社会福祉法人日本保育協会からの推薦者に対し、海外研修の普及効果等を考慮の上、下記の基準項目により受講者を選考することとする。

(選考の基準項目)

- ・ 実施要綱上の受講対象者の条件を満たしている者
- ・ 各都道府県・政令指定都市・中核市を平準化させる
- ・ 過去参加の少ない都道府県・政令指定都市・中核市を優先する
- ・ 社会福祉振興・試験センターの行う海外研修に参加した経験のある者は、未参加の申込者に劣後する
(過去の参加者が応募すること自体は問題ない)
- ・ 推薦理由、応募動機、資格等を考慮する

2022年度 民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修・調査 受講希望者推薦書

標記海外研修・調査の受講希望者を、以下のとおり推薦します。

1 推薦者(県・市等推薦機関)

- ① 名称 _____
- ② 担当部署 _____
- ③ 主管課 _____
- ④ 担当者名 _____
- ⑤ 電話番号 _____ (内線) _____

2 受講希望者

班名	氏名	所属施設名
高齢者班 (高齢者施設の職員)		
障害者班 (障害児・者施設の職員)		

※複数人数の場合は、行を増やして記入してください

※添付書類

2022年度民間社会福祉施設職員等海外研修・調査受講申込書

公益財団法人社会福祉振興・試験センター
理事長 橋本 正明 様

2022年度 民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修 『ノーマライゼーション先進国』スウェーデンの高齢者福祉とはー

研修のテーマ・企画ポイント



『福祉先進国』として名高いスウェーデンの高齢者福祉は実際どのように機能しているのでしょうか。ノーマライゼーションの考え方が社会に浸透し、「自己決定」と「自立支援」に重きを置くという、この国ならではの概念に基づいたケア方法、アプローチの仕方、そして福祉サービスについて、分かりやすく解説します。

- ☑ 過去リアル版の海外研修・調査に同行し、大変好評を得ているコーディネーター兼通訳の **エミル・オストベリ氏** がご案内します。(2021年度オンライン海外研修も担当しました。)
- ☑ 認知症に焦点を当て、サポート内容やケア方法についてお話しします。
- ☑ 2日目の高齢者施設見学の回では、施設内の様子をビデオでご紹介します。実際の視察さながらに施設の雰囲気を感じていただけるよう配慮します。
- ☑ ライブ中継なので双方向のコミュニケーションが可能！コーディネーターや現場で働くスタッフとリアルタイムで交流できます。



コーディネーター 兼通訳

スウェーデンを訪れる日本の視察団の通訳・講義を行う他、年に数回日本を訪れ、スウェーデン大使館・大学・病院などで自らの流暢な日本語を駆使し、スウェーデンにおける高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉についての講演活動を行っている。



日本の福祉事情にも精通!!
エミル・オストベリ氏

1日目：エミル氏講義

日時

2022年9月20日(火)
日本時間 15:00~17:00

スウェーデンの文化、歴史的背景をふまえ、高齢者福祉に関する専門的な内容を解説します。

- ◆スウェーデンの高齢者福祉概要
- ◆ケアが必要な高齢者へのサポートについて
- ◆グループホーム、ナーシングホーム、デイアクティビティセンター、在宅ケアで実施されているケアについて
 - ・ケアプラン ・アクティビティ ・終末期ケア
 - ・補助器具の活用法 ・個別ケアのためのチームワーク
 - ・家族への支援と協力関係について
- ◆質疑応答

【見学施設一例】

Brunsgatan 15A <ブルスガタン15A>



認知症高齢者のための特別住宅。コンタクト・パーソンシステムを取り入れている。
←入居者の個室(全室トイレ&シャワー付)

※見学施設名の確定は2週間前頃となります。



いずれもオンライン会議システム「Zoom」を使用します。

2日目：高齢者施設見学

日時

2022年9月27日(火)
日本時間 15:00~17:30

※感想共有や意見交換など受講者同士が交流できる時間を設けます。(17:00~17:30予定)

テーマ

介護施設・グループホームにおける
認知症患者への支援について

- ◆職員による施設の概要説明(事前に録画したビデオをご覧ください。)
- ◆グループホームでのケア方法について
- ◆ケアスタッフの支援・教育プログラムについて
- ◆質疑応答

2022年度 民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修 『ノーマライゼーション先進国』 スウェーデンの障害者福祉とは一

研修のテーマ・ポイント

『福祉先進国』として名高いスウェーデンの障害者福祉は実際どのように機能しているのでしょうか。ノーマライゼーションの考え方が社会に浸透し、「自己決定」と「自立支援」に重きを置くという、この国ならではの概念に基づいたケア方法、アプローチの仕方、そして福祉サービスについて、分かりやすく解説します。

- CHECK** 過去リアル版の海外研修・調査に同行し、大変好評を得ているコーディネーター兼通訳の**エミル・オストベリ氏**がご案内します。オンライン研修の経験も豊富です。
- CHECK** 2日目の施設見学の回では、**重度心身障害者のためのデイアクティビティセンター**で取り入れている様々なケア方法を具体的にご紹介します。
- CHECK** 実際の視察しながらに施設の雰囲気を感じられるよう、訪問者目線のビデオで施設内の様子をご覧ください。
- CHECK** ライブ中継なので双方向のコミュニケーションが可能！
コーディネーターや現場で働くスタッフとリアルタイムで交流できます。

1日目：エミル氏講義

＼コーディネーター兼通訳／
エミル・オストベリ氏



スウェーデンを訪れる日本の視察団の通訳・講義を行う他、年に数回日本を訪れ、スウェーデン大使館・大学・病院などで自らの流暢な日本語を駆使し、スウェーデンにおける高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉についての講演活動を行っている。

日時：2022年9月22日(木)
日本時間 15:00～17:00

テーマ

スウェーデンにおける障害児・者福祉の現状

- スウェーデン障害児・者福祉の概要とその発展の歴史について説明
- ケアが必要な障害児・者へのサポートについて
 - ・ハビリテーションセンター ・補助器具
 - ・ハウアダプテーション ・教育システム
 - ・グループホームやサービス住宅
 - ・パーソナルアシスタントサービス
- 質疑応答

2日目：障害者施設見学



↓スヌーズレンルーム



【見学施設(予定)】 Händelseriket <ヘンデルセリーケット>

- 健康生成論** 重度の障害があったとしても、一個人として精神面の健康を得るために生活における様々な活動の目的を理解し、自身で判断できるように促すこと
- 低刺激対応** 自閉症や認知症の患者が興奮しないよう、落ち着いた働き方を実践

日時：2022年9月29日(木)
日本時間 15:00～17:30

テーマ

デイアクティビティセンターにおける
重度心身障害児・者への支援について

- 職員による施設の概要説明
(事前に録画したビデオをご覧ください。)
- 施設で実践している様々なケアについて
スヌーズレン/健康生成論/低刺激対応
アクティビティ/自立支援 など
- 質疑応答

※感想共有や意見交換など受講者同士が交流できる時間を設けます。(17:00～17:30予定)

いずれもオンライン会議システム「Zoom」を使用します。

